

## 令和7年度第3回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和8年3月26日(木) 10時00分～10時50分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

### 3 出席者

#### (1) 委員

石塚千佳 委員・磯野敏和 委員・加瀬紗和 委員・二階堂友和 委員・松尾修一 委員  
本杉みゆき 委員・安田昌子 委員・吉岡文 委員・吉野知義 委員

#### (2) 事務局

佐久間中央図書館長・鈴木中央図書館管理課長・堀中央図書館情報資料課長  
藤井みやこ図書館長・稲葉花見川兼稲毛図書館長・及川若葉図書館長  
市川緑図書館長・東端美浜図書館長・堀中央図書館管理課長補佐

#### (3) 傍聴人

10人

### 4 議 事

(1) 令和8年度予算及び事業計画(案)について

### 5 概 要

(1) 令和8年度予算及び事業計画(案)について

(ア) 事務局より説明

(イ) 質疑応答

### 6 会議経過

<開 会>

- ・出欠確認
- ・配布資料の確認
- ・中央図書館長あいさつ
- ・会議の成立について報告
- ・委員長あいさつ

<議事>

(1) 令和8年度予算及び事業計画(案)について

#### 【事務局から説明】

(鈴木中央図書館管理課長)

資料1に基づき、下記項目について説明

- ・令和8年度予算及び内訳の対前年度増減比
- ・対前年度増減理由
- ・令和8年度主要事業
- ・図書館サービスの基本的な取組事項
- ・令和8年度事業計画

## 【質疑応答】

(本杉委員)

管理運営費及び資料整備費の減額について、予算が厳しいとのご説明は理解するものの、中央図書館・地区図書館を合わせた資料整備費が約 1,000 万円減額となっている点が気になる。

ブックメールカーの委託料について、令和 8 年度の契約では運行ルート最適化とされているが、運行頻度を減らしたのか、あるいはルートの見直しを行った結果なのか、その内容について説明をお願いしたい。

地区図書館の資料整備費については、毎年度減額が続いており、運営上厳しい状況であると考ええる。各図書館の特色を踏まえた資料費配分の方針は、現在も継続されているのか伺いたい。

また、地方新聞については、全国を網羅した地方紙を所蔵している点が本市図書館の特色の一つであったと認識している。購読中止により一定の経費削減につながると考えられるが、中止の判断に至った具体的な利用実績やデータ等があればご説明いただきたい。

(佐久間中央図書館長)

ブックメールカーについては、運送コストの高騰やシーリングの影響により、従来の 10 コース・週 6 日運行を継続することが困難となったため、見直しを行い、令和 8 年 4 月以降は 1 コース削減し、9 コース・週 6 日運行とする予定でいる。削減にあたっては、予約資料の配送を優先する等、市民への影響を最小限に抑える対応を行う。

地区図書館の資料整備費についても厳しい状況にあるが、教育みらい夢基金を活用し、前年度比約 500 万円増となる総額約 1,500 万円を確保する等最大限の努力を行い、特に児童向け資料への影響については、最小限に抑えることができた。

地方新聞については、中央図書館開館以来継続してきたものであり、定期的に利用されている方がいらっしゃることは承知している。閲覧数については、開架方式のため、正確な把握が困難で、データは保有していませんが、削減対象となる項目について検討を行った結果、事業全体への影響や優先度を踏まえ、地方新聞の購読を見直す判断に至った。

(本杉委員)

地方新聞の購読中止に伴い、デジタル媒体の活用等、代替手段を検討しているか。

(佐久間中央図書館長)

本来であれば、地方紙のデータベース等を代わりに導入できればよかったと考えている。しかしながら、電子書籍関連の予算についても減額を余儀なくされており、対応が難しい状況にある。今後、財政状況が改善した場合には、地方紙のデータベース等を代替手段として導入することも考えており、引き続き検討していきたい。

(松尾委員)

物価高騰の影響により厳しい予算判断を迫られており、教育委員会においては学校教育部門を優先せざるを得ない状況は理解している。市全体としても、施設整備等にかかるコストが大幅に上昇しており、従来と同様に予算を確保することが困難な状況にある。こうした状況を踏まえ、今後進展が見込まれる AI の活用等について調査を進めることで、業務の効率化や経費削減につなげていくことが必要であり、その点について検討を進めていただきたい。

(佐久間中央図書館長)

資料整備費については削減せざるを得なかったが、千城台公民館・若葉図書館複合施設の設計が終了し、工事に着手する予定となっており、基本計画時には約 20 億円を想定していたが、物価高騰等の影響により事業費は約 25 億円かかる見込みであり、図書館に対する予算措置について配慮がされていないわけではない点については、ご理解いただきたい。

また、2027 年末の蛍光灯の製造・輸出入終了を見据え、次年度は LED 化を進める予定としており、修繕費を約 9,600 万円計上している。優秀な人材を確保するためには人件費等への対応も必要であり、人件費を含めた図書館費全体としては減額とはなっていない。

結果的に、資料整備費については減らさざるを得ない状況に至ってしまった。

(本杉委員)

4 ページ (2) 「こどもたちが利用しやすい読書環境の整備・充実」について、私たちは千葉市文庫連絡協議会として活動しており、今後も引き続き支援を継続していただきたい。

6 ページ (6) 「電子書籍サービスの提供」について、令和 6・7 年度に学校向けコンテンツが提供されている。電子書籍には、有効期限を過ぎると閲覧できなくなるものや、無料で読めるものがあると思うが、それぞれの割合を伺いたい。また、学校向けコンテンツについても、利用制限等が設定されているのか伺いたい。

7 ページ (2) 「中央図書館の機能強化及び地区図書館・地区図書館分館の再編」について、司書等の専門分野を特定するとあるが、人材育成について、今後どのように進めていくのか伺いたい。人件費が上昇している中でも、図書館については司書資格を有する人材を積極的に配置していくことが重要であると考えている。第 1 回図書館協議会において、千葉市では専門職としての採用は現状行っていないとの説明があったが、同じ人件費をかけるのであれば、専門職での採用についても検討していただきたい。

(佐久間中央図書館長)

千葉市文庫連絡協議会の皆様におかれましては、日頃から様々な形でご協力をいただいております、感謝申し上げます。予算の限度はあるものの、児童サービスや地域資料は特に重要であると考えているため、引き続き重点的に取り組んでいきたいと考えている。

電子書籍サービスの学校向けコンテンツについては、令和 7 年度に小学生向けの朝読書に適したものを新たに導入している。これらの学校向けコンテンツについては、読み放題で繰り返し利用することが可能となっている。なお、利用制限のないものと、あるものとの割合については、後ほど情報資料課より回答する。

司書については、ご認識のとおり専門職の採用は現状では行っていない。少しでも司書有資格者を多く配置するため、司書資格を有し、図書館経験のある職員に戻ってきてもらいたいと考えている。人事発令前のため詳細は控えるが、令和 8 年度は司書資格を有する図書館経験者が配置される予定。

(堀中央図書館情報資料課長)

電子書籍について、利用に制限のないものとあるものの比は、おおむね 2 対 1 となっている。

(本杉委員)

司書については、司書資格を有する図書館経験者が戻ってきてくれることは大変喜ばしい。

また、電子書籍について図書館ホームページを確認したところ、書籍の追加提供の案内が分かりにくいと感じた。他市町村では予算不足等により導入していない図書館もある中、既に導入しているサービスを維持することが予算上難しい状況であることは承知している。予算に限りはあると思うが、今あるものを最大限活用し、利用者にとって分かりやすくなるよう、表示方法等について検討していただきたい。

(佐久間中央図書館長)

電子書籍については、ホームページの見やすさについて引き続き改善に努めていく。

また、電子書籍サービスの提供方法について、個人的な意見にはなるが長野県の取組を参考にし、市町村単位ではなく県単位で一括して提供する形が望ましいと考えている。国単位での対応は難しいものの、市町村ごとの負担を軽減する観点から、県全体で提供する仕組みも検討の余地があるのではないかと思う。

(本杉委員)

県にも働きかけを行い、実現に向けて進めていただきたいと思う。

(二階堂委員)

案として、予算に制約がある中では、対応を浅く広く行うのではなく、「選択と集中」の考え方を取り入れることも有効である。

また、子どもについては従来どおり利用できる環境を確保しつつ、大人については一定の負担を求める等、公共図書館では実現が難しいと考えられるものの、有料化について検討が必要。有料化の例としては、閉館時間を超過した場合や、自習スペースの長時間利用等が考えられる。

(吉野委員長)

公共図書館という立場では難しい側面もあるが、ビジネス的な観点からは、検討に値する内容であるとする。

以上